平成３０年度広島市立広島特別支援学校　学校経営計画

学校教育目標

児童生徒の自立と社会参加を目指し、一人一人の力を伸ばして、主体性をもって豊かに生きる人間を育てる。

目指す子ども像

明るく　元気にたくましい子ども

目指す学校像（ビジョン）

家庭や地域社会から信頼され、本市の特別支援教育のセンターとしての役割を果たす学校

・児童生徒が自立と社会参加を目指す学校
・専門性を高め合い、弛まぬ教育実践を行う学校
・児童生徒が生き生きと活動する教育環境が整った学校
・地域社会に開かれた学校

目指す教師像

専門性と指導力の向上を目指し、児童生徒、保護者から信頼される教師

学部目標

訪問学級

生きる力を育てる。

小学部

教師や友達と一緒に生活する楽しさを感じ取り、自分から進んでものごとに取り組む力を育てる。

中学部

主体的に生活する力を育てる。

高等部

豊かに生活できる力を付ける。

中期経営目標

学力の向上・豊かな人間性の育成

関係法令・学習指導要領等に準拠し、一人一人の児童生徒の確かな成長・発達を期して計画的な指導を展開し、心身ともに健やかでたくましい児童生徒を育てる。

専門性の向上

教職員一人一人が専門性を発揮し、児童生徒の障害実態や発達課題、疾病等への配慮事項に即した指導方法を習得し、授業の質的改善を図る。

教育環境の整備

安全でかつ清潔で児童生徒が主体的に活動できる整った教育環境づくりを行う。

新たな学校づくりの推進

「地域に開かれた学校」「特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校」その学校づくりを構想し、具体化を図る。

短期経営目標

●自立と社会参加を目指し、児童生徒が「わかる」「できる」「かかわりあう」を大切にした日常生活における指導の授業づくりを行う。
○本校のカリキュラム構築を目指し、学習指導の体系化・系統化を年次計画で行っていく。
○児童生徒の健康の促進と望ましい生活習慣（歯磨き）の確立を図る。
○卒業後の豊かな生活を目指し、個別のニーズに応じた進路指導を行う。

○ICTの活用（視聴覚教育等）を推進し、教材や指導方法等の専門的知識を高め、積極的な活用を目指す。
●各学部で課題を設定し、学部会や学部研修会等を活用して、発達課題・障害特性等の理解や指導方法についての研修を深め、授業改善を目指す。

○教育環境整備の充実と備品管理の徹底を図る。
○校舎内外の美化に努め、教育環境を整える。
○児童生徒の読書意欲を高め、児童生徒用図書の充実を図るなど読書活動の推進を図る。
●児童生徒が見通しをもち、自ら進んで主体的に活動できるような環境づくりを行う。

○小・中・高等学校の教員への支援についての具体的取組を計画・実施し、その充実を図る。
○新たな学校（高等部）の教育課程を作成する。
●「地域に開かれた学校づくり」を目指し、学習の充実を図る。

●は重点目標